

# 埼玉県伊奈町と

# 友好都市を締結



つくばみらい市と埼玉県伊奈町の友好都市提携協定調印式が1月17日、伊奈町役場で行われました。

片庭市長と野川町長は調印後、友好都市締

結の記念として、つくばみらい市からは市の木である「桜」の苗木を贈り、伊奈町からは町の花である「バラ」の苗木が贈られ、親交を深めていくことを誓いました。

両市町は、伊奈忠次公・忠治公親子ゆかりの地であることから、平成6年から両商工会を通じて友好を深め、これまで交流を積み重ねてきました。

東日本大震災をきっかけに人々との絆の大切さを再確認し、これまで両商工会を通じて重ねてきた交流を、市民全体につなげるため友好都市提携協定を締結しました。両市町は、さらなる友情と信頼を深めていくため、産業・観光・教育・文化など、さまざまな面で交流を進めていきます。さらには、今後、東日本大震災の教訓を活かし、大規模災害時における相互応援体制を整え、市民の安全な生活を目指します。

## 共通する発展環境

両市町は、首都圏近郊にあり、鉄道沿線整備に伴うまちづくりを進め、急速に発展を遂げているまちという共通点があります。

伊奈町では、大宮・上尾・伊奈の3地域の沿線地域住民の足として、埼玉新都市交通伊奈線が導入され、沿線地域発展の原動力となっています。

つくばみらい市でも、つくばエクスプレスの開業に伴う沿線整備のまちづくりを進め、地域発展を遂げています。

## 親子二代で地名の由来に

### 【埼玉県伊奈町】

埼玉県伊奈町は、徳川家康が関東入国し、のちに代官頭を勤めた伊奈忠次公が行った関東地方の勧業治水に貢献した功績にちなんで伊奈町としました。

伊奈忠次公は、小室郷（伊奈町大字小室）に陣屋を構えて関八州の天領を治め、検地の実施、中山道その他の宿駅の整備、加納備前堤、川島大囲堤を築堤するなど、関東各地にわたって、治水・土木・開拓などの事業を行い、大きな功績を挙げました。

### 【つくばみらい市（旧伊奈町）】

伊奈忠次公の次男で父と同様に代官頭を勤めた伊奈忠治公の功績には、利根川の東流工事、小貝川と鬼怒川の分流工事、小貝川3大堰と呼ばれる福岡堰・岡堰・豊田堰の築造があります。特に著名なのが小貝川と鬼怒川の分流工事で、この結果、谷原（やわら）と呼ばれていた湿地帯が開拓できるようになり、「谷原三万石」といわれた広大な美田地帯が誕生しました。旧伊奈町（現つくばみらい市）は、この功績にちなんで伊奈町としました。

調印式での片庭市長のあいさつ

「友好都市締結を契機として、産業、観光、歴史、教育、文化、芸術など幅広い分野でより一層交流が進み、災害時には相互に支援できるよう一層の信頼を築き、友好と交流の輪が広がることを大いに期待します」

調印式での野川和好町長の

あいさつ

「当伊奈町にとって初めての友好都市提携は、やはりつくばみらい市と考えていました。今後、さまざまな視点で交流の促進を図りつつ、どこよりも親しい、お互いに頼れる関係を築いていければ幸いです」

